

心ひとつ



仁誠会通信

やさしく
やわらかく
あたたかく



第24号
2018.4



赤とんぼ通所リハビリテーションのご利用者さんと介護士・リハスタッフ

目次

2 ● 平成30年度を迎えるにあたり

仁誠会 理事長 田尻 哲也

3 ● 仁誠会クリニックの2017年末慢性透析療法の現況報告

4 - 5 ● 平成29年度入職者～私たちの1年間の成長～

6 - 7 ● 永年透析 20年・30年・40年を語る

8 ● 平成30年度「地域支援活動」開催のおしらせ

利用者の「やりたい事」をサポート

～長嶺校区の「ふれあい駅伝大会」へ参加しました～
仁誠会ホームページの赤とんぼブログ(2/13)に掲載。
詳しい様子は、そちらをご参照ください。

原点回帰

仁誠会クリニックの2017年末 慢性透析療法の現況

日本透析医学会 統計調査委員会による統計調査より抜粋して報告いたします。

※全国との比較は2015年末もしくは2016年末との比較になります。

年末患者数・年齢

(人) (歳)	全国平均 2016	黒髪	大津	ながみね	光の森	新屋敷
年末患者数		93	118	144	131	84
年齢	68.15	68.0	66.0	69.7	66.5	68.0

透析期間

(%)	全国平均 2016	黒髪	大津	ながみね	光の森	新屋敷
5年未満	47.3	34.4	43.2	50.0	42.0	34.5
5年以上10年未満	24.8	31.2	18.6	22.2	35.9	31.0
10年以上15年未満	12.7	12.9	13.6	9.0	11.5	14.3
15年以上20年未満	6.9	3.2	9.3	7.6	5.3	8.3
20年以上25年未満	3.9	6.5	8.5	2.8	1.5	4.8
25年以上	4.4	11.8	6.8	8.3	3.8	7.1

仁誠会では透析期間20年以上の患者さんの割合は、開院して9年の光の森を除いて全国平均よりも多く、透析歴の長い患者さんが仁誠会には多くいることを示しています。

年末患者主要原疾患

(%)	全国平均 2016	黒髪	大津	ながみね	光の森	新屋敷
糖尿病性腎症	38.8	38.7	28.8	42.4	40.5	42.9
慢性糸球体腎炎	28.8	21.5	25.4	22.9	25.2	33.3
腎硬化症	9.9	8.6	9.3	11.1	13.7	2.4
多発性囊胞腎	3.6	3.2	3.4	2.1	2.3	3.6
慢性腎孟腎炎	0.9	0.0	1.7	0.0	0.0	2.4
急速進行性糸球体腎炎	0.8	1.1	0.8	0.0	0.8	0.0
自己免疫性疾患に伴う腎炎	—	0.0	0.0	0.0	1.5	1.2
不明	9.8	18.3	16.1	17.4	9.2	13.1

現在透析患者さんの原疾患は糖尿病性腎症が1位であり、仁誠会クリニックではながみね、光の森、新屋敷においてその割合が特に多くなっています。

透析条件検査

	全国平均 2015	黒髪	大津	ながみね	光の森	新屋敷
透析回数(回/週)	2.98	3.0	2.99	2.99	2.99	2.98
透析時間(時間/回)	3.98	4.52	4.4	4.42	4.44	4.58
血流量(ml/分)	205.8	195.9	194.8	186.2	204.4	191.3
HD前BUN(mg/dL)	60.9	59.5	60.3	59.7	58.6	59.9
HD後BUN(mg/dL)	20.6 (2008年)	18.3	16.6	17.4	17.9	18.8
Kt/Vsp	1.5	1.51	1.65	1.57	1.47	1.49

透析回数は2015年末全国平均とほぼかわりありませんが、透析時間においては2015年末全国平均よりも長い結果となっています。

質の高い透析療法を求める

仁誠会クリニックでも全国同様、透析患者さんが高齢化し糖尿病性腎症を原疾患にもつ患者さんが増えています。上記の表をみてお分かりのように、仁誠会クリニック間でも違いが出ております。このようなデータをもとにすると、同じ法人内であっても同じようなことをするのではなく、クリニックごとに特徴をとらえた合併症対策や患者さんへの援助が変わってくるのではと思っております。今年度は原点に戻り根拠のあるデータに基づいて質の高い透析療法を目指していくと思います。

仁誠会 技士部長 宇並 美佐子



• Reset & Restart

医療法人社団 仁誠会
理事長 田尻 哲也

平成30年度を迎えるにあたり、今年度の仁誠会の目標とイベントをご報告します。

『心ひとつ』の理念の下に医療・介護全職員で『原点回帰 Reset & Restart』をテーマに取り組みます。少子高齢化の時代に入り、今までの考え方・やり方では業務に支障をきたしつつあります。労働人口減少に伴う人材不足の影響もあります。そこで、今年度は0ベースで業務やシステムを見直して体制を整えることを目標にあげて取り組みます。

ハード面での一番大きなイベントとしまして仁誠会クリニック大津のリニューアルオープンが本年9月末に予定されています。昨年末より工事も開始しており、我が法人の最大の強みである医療と介護の融合・共存を活かして、入院病棟がある透析クリニックを新設するだけでなく、既存の建物を有料老人ホームとデイケアにリフォームして理想の複合施設として展開する予定です。

ソフト面ではケアセンター赤とんぼにおいて電子カルテ導入を行い、IT化することによる業務見直しを行います。最新型ソフトを導入し、より利用者さんへの寄り添う支援・自立支援を手厚くすることが目的です。

赤とんぼ職員が今以上に活き活きと格好よく働く姿にご期待ください。クリニックにおいても現在使用中の電子カルテを大幅にバージョンアップし理想の透析治療実現に大きく近づく予定です。

今年度も『患者さん・利用者さん第一』を念頭におき、常に高いレベルを目指して職員が楽しみながら笑顔で働くことを支援してまいります。

仁誠会は日々成長していきますのでご期待ください。今年度もよろしくお願いします。

私たちの1年間の成長

ケアセンター赤とんぼ 合澤 貴子
リハビリテーション科 健康運動指導士

私の性格

私がこの1年で成長したと感じることは大きく分けて2つあります。1つ目は、目配り・気配りが出来るようになったと思います。利用者さんの安全・安心を守る為、日頃から細かい所にも気を配るように心がけています。2つ目は、心のキャパシティが広くなり、ゆとりが出来たと思います。社会に出ると人との関わりが増える為、色々な性格を知ることが出来ました。この1年は、学生時代の自分はちっぽけで、まだこれから先さらに視野を広げていける可能性を秘めているのが私だと気づいた期間でした。



仁誠会クリニック新屋敷 田尻 裕美
フロント 事務

やりがいを見つけて

この一年間を振り返って、日々学び、やりがいを感じながら働くことができました。最初は不安でいっぱいでしたが、患者さんが私の名前を覚えて話しかけて下さったり、スタッフの皆さんに優しく手助けして下さったりと、周りの皆さんに支えられながら成長できた一年でした。患者さんと毎日楽しくお話しする事が私のやりがいのひとつとなっています。これからもやりがいを持って頑張りたいと思います。



ケアセンター赤とんぼ 田口 晴菜
フロント 事務

少しずつ自信を深めた一年

働き始めた頃は、新しい環境に戸惑うことも多く、不安だらけの毎日でした。しかし、業務を一つ一つこなしていく中で、少しずつ自信を持てるようになりました。また、事務の仕事に限らず、利用者さんとの飾り付けの作成や、行事の運営など、様々な業務に関わったことが、自分の成長に繋がったと思います。今後も一歩一歩成長できるように、日々努力しています。



安心の新人サポート

新人は、入職時の研修や定期的なフォローアップ研修があり、また、OJTでは、技術指導者(プリセプター)とお兄さん・お姉さん役(チューター)の二人の指導者がつき、仕事も心もサポートしています。

仁誠会 教育担当

ケアセンター赤とんぼ 宇野 太貴
リハビリテーション科 理学療法士

1年間とこれから

1年が経ち、成長を感じることは、通所、入所の利用者さんに安全・安心して過ごすことを考えることと、運動指導や集団体操など利用者さんがただ運動を行うことではなく、笑顔がみられる、かつ身体機能、能力を向上させられるような運動指導が出来るようになったことです。リハビリを通して、利用者の笑顔をみられるうれしいです。



ケアセンター赤とんぼ 柴田 優
リハビリテーション科 理学療法士

理学療法士としての1年目

私の地元であるこの地で、理学療法士として皆様のお役に立てると思うと嬉しかったです。この1年で私は大きく成長出来たと思います。入所当時は立つ事が精一杯だった利用者さんが、現在では1本杖を使い、1人で歩けるまで回復されています。とてもリハビリを頑張られて得た結果だと思います。その利用者さんを担当させて頂いた事で、私自身も共に成長出来たと強く思いました。今年は更なる成長を目指し、精進します。



仁誠会クリニックなごみね 岡村 菜生
フロント 事務

出会い

この1年患者さんや、職員の皆さんと出会い、自分が今まで気づかなかったことだったり、知らなかったことなど、色々な新しいことを教えていただき、身につけることが出来ました。今後も多くの人と出会い、学んだことを糧とし、さらに成長できる様、頑張ります。



管理本部 花田 麻由
総務係 事務

社会人一年目振り返って

入職したばかりの頃は、仕事に対する不安が大きく、緊張の毎日でした。特に、電話忾答が苦手で、スムーズに電話をつなぐことができず、失敗してしまうことがありました。克服する為には、慣れるしかないと思い、誰よりも早く電話を取りるように心掛けました。一年が経ち、電話忾答にも慣れ、入職当時よりもできことが増えて仕事が楽しいと感じるようになりました。もっと総務の仕事を覚えて、二年目も成長していきたいと思います。

仁誠会クリニック大津 佐藤 璃歩
技士部 臨床工学技士

一番の成長

この一年で一番成長したことといえばコミュニケーション能力だと思います。これまで人見知りで人と話すことが苦手でした。しかし、仁誠会に入って患者さんやスタッフとコミュニケーションが必要になり、数をこなしていくうちに自然と得意なことになってきました。コミュニケーションがとれることで他の成長も進んでいます。これからもコミュニケーションを武器に成長し続けたいと思います。



仁誠会クリニック黒髪 谷川 博奎
技士部 臨床工学技士

感謝

入職し始めの頃は、緊張していましたが、患者さんに挨拶すると、「がんばってね」と励ましの言葉をいただき、頑張ろうと思えることが出来ました。先輩たちも優しく、時には厳しく指導をしていただき、先輩たちの支えがあって成長できたのだと思います。仁誠会には成長できる環境があり、楽しく仕事が出来ています。



仁誠会クリニック新屋敷 栄徳 桃恵
技士部 臨床工学技士

スタッフに支えられて

4月に入職し、真新しい環境、初めて行う業務、臨床という現場で不安や緊張でいっぱいでした。ですが新屋敷に配属され多くのスタッフの皆さんのお優しい声かけや指導のおかげで検定に合格し、出来ることも増えたと思います。まだ臨床という現場で不足部分も多くあるので、これから多くのことを学び、この1年での成長を更なる知識・技術向上に繋げていきたいと思います。



仁誠会クリニックなごみね 工藤 俊介
技士部 臨床工学技士

来年へ向けて

入職して1年が経ち、患者さん一人一人について理解したり、マシントラブルの対応をしたりで、毎日充実して過ごせています。30年度はリーダーを多くする機会を増やせると共に、4月入職の新人さんは自分が一年間勉強してきたマシンの対応を教えられると良いなと思っています。



仁誠会クリニック新屋敷 宮原 穂奈美
栄養科 管理栄養士

社会人2年目に向けて

昨年9月から『栄養相談業務』を担当するようになりました。初めは緊張と知識不足で、患者さんに御迷惑をおかけすることもありました。しかし、患者さんからの「上手だったよ」「がんばって」との温かい声に支えられて、「正確で分かりやすく患者さんの疑問に答えたい」という気持ちを強く持ち、経験を積むことができました。入院患者さんからも「今日は朝ごはん全部食べてきたよ」「私のためにこんなに考えててくれてありがとう」とお声をかけて頂く機会が増えました。社会人2年目として、管理栄養士の立場から患者さんの生活スタイルに合わせたサポートができるよう頑張ります。



仁誠会クリニック光の森 坂本 智洋
技士部 臨床工学技士

やりがいを感じるとき

大学で、教授から臨床工学技士という職業について説明があり、医療機器の管理や患者さんに安心で安全な透析を提供するという仕事に魅力を感じました。入職して1年がたち、7~8人の患者さんを一人で受け持つリーダー業務ができるようになり、透析治療の最後の抜針時に患者さんから「痛くなかったよ。ありがとうございます」と言われ、やりがいを感じています。これからも一人前の臨床工学技士を目指して頑張っていきたいと思います。



ケアセンター赤とんぼ 緒方 雄大
入所科4階 介護福祉士

より良い介護を目指して

最初の頃は、右も左も分からず、ひたすらに先輩の動きを見ながら業務をこなしていくという日々だった。しかし、次第に業務を覚え、心にも余裕が出てくるにつれて「より利用者の笑顔を引き出せないか?」「より利用者の思いに寄り添ったケアを提供できないか?」等、考えを至らせることが出来るようになりました。今後も利用者のことを第一に、思考を止めない介護を意識したい。



永年透析 20年・30年・40年 を語る

透析20年を迎えて

K.Tさん

本年で透析を開始して20年という歳月が経ちました。導入前には私は埼玉県に居ました。勤めている会社の検診で再検査を促され採血をし、その後、埼玉医大で腎生検という聞いたことのない検査を受けました。背中から針をさし腎臓の組織を取り検査を行うというものでした。検査後は体を動かせないということで一晩中眠れずにいたことを思い出します。

それから通院、定期検査、熊本へ転勤があり市民病院へまた通院が始まり、そこで池崎先生と会うことになりました。

通院を続けて5年くらい経った時に、ご飯がのどを通らなくなり麺類を流し込む日が多くなりました。体調が悪くなっているのがわかります。市民病院に定期通院で、即入院が必要だと言われシャントの手術。及び透析を始めました。

退院してから近くの平山医院に通い始めました(西合志在住時)。順調?に治療を続けているつもりでしたが当時の治療時間は3時間でした。(会社の退社時間と病院の終了時間との兼ね合いで3時間しかできなかった)5年過ぎた頃に手足にしびれが出てきて悩みました。

社宅の住居期限を迎え引越し先を探しながら、大津のクリニックではオンライン透析をやっている事も聞き、手足のしびれが改善するかもしれない(前医院のスタッフの言葉)との期待も持ち、引越しも兼ねて転院を考え、会社から近くなったのと11時過ぎまで診療しているので時間が取れました(前医院は10時まで)。クリニック大津に転院してからは、しびれに効果がある?と聞かされていたオンライン透析を始めましたが、オンライン透析が中止になった時期があり期待薄になったことを覚えています。

で、透析が長くなるといろいろ症状が出てくることは聞いていましたが、胆のう、甲状腺、腎結石の手術やその他いろいろの症状が出ましたが、なんとか、乗り切ってこれたと思います。これは、周りのスタッフの皆さんのお暖かい言葉や心遣い、多々あると思いました。

これからも、様々な困難があると思いますが私なりに頑張っていきたいと思います。早くiPS細胞による腎臓再生の道を開けてくれることを望みます。

透析40年を迎えて



田島 経佐実さん
(仁誠会クリニック黒髪)

19歳から透析を始め、色々とありながら、無事に40周年を迎える事が出来ました。これも田尻会長やスタッフ、その他大勢の方々の協力があったおかげだと思います。特に透析の私を支えてくれた、妻には大変感謝しています。

透析を始めた40年前は、5年しか生きられないと言われていました。また透析が保険適応になってすぐの事で、とても運が良かったと思っています。当時は透析をしながらの就職は難しく、家の農家を手伝いながら仕事をしていました。それでも就職ができ、今の妻と知り合い、27歳で結婚して30歳の時に長女、2年後に長男を授かり2人の子供にも恵まれ、大変幸せに思っています。今は孫にも恵まれ、孫が家に来ては忙しくしています。

長いようで短い40年でした。次は50年を目指し頑張って行きます。これからもよろしくお願い申し上げます。

透析30年を迎えて

金崎 光顕さん
(仁誠会クリニック新屋敷)

午後5時30分そろそろクリニックに行く時間だ!…月・水・金、この時間になるとそわそわしてしまう。このようなサイクルで30年も続けてきたのが信じられない気持ちで今振り返っています。ということは、当然のことでしょうが自然と私の生活の一部となってしまっていることなのでしょう。

透析に入って2年間ぐらいは、からだ的にきつさを感じていたけれども、その後からだとリズムが馴れてきたのか、仕事も私生活も特に支障なく充実した生活を送ることができます。これもクリニックの先生はじめスタッフの皆さん、それと職場にも恵まれ理解・協力を得られたお陰だと感謝しています。

昨年定年を迎えたのに仕事を続けることができ、もう暫くは現役で頑張りたいと思っています。それでも、週3回の透析に行くという時間的拘束はいかんともしがたく、これからは少しずつ仕事から自分の時間へと少しずつシフトしながら、今後は自分の趣味の時間を増やしながら、いろんなところに出かけて見聞を広め、楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。

永年透析表彰 おめでとうございます

・40年 田島 経佐実さん (黒髪)



丸田 孝子さん (黒髪)

・30年 下田 直己さん (黒髪)
丸田 孝子さん (黒髪)
金崎 光顕さん (新屋敷)

・20年 永田 カズヨさん (大津)
K.Tさん



下田 直己さん
(仁誠会クリニック黒髪)

透析30年を迎えて

私の透析の始まりは突然起きた。その2~3日前より風邪のような症状が続いていたので病院に出かけた。診察を受けるといきなり県立病院に送られ、1時間後には透析を受けていたという、自分でも理解するのに時間が必要だった。

そんな突然始まった透析生活もあっという間に30年が過ぎ、人生の半分は回路に繋がれた自由のない生活を送っていましたが、そんな中でも色々の楽しみも見つけ、案外いい人生だったかなと思える今日この頃ではあります。

平成30年1月28日に仁誠会ひまわり腎友会の新年会が開催されました

患者さんとそのご家族、職員の親睦を深めるために毎年開催されていますが、今年も100名程の参加となり、会食での会話も弾み、カラオケを楽しんだり、他施設のスタッフと交流したりと、とても賑やかな新年会となりました。



H30年度「健康講話」・「オレンジカフェ&講話」のお知らせ — 第3期スケジュール —

赤とんぼでは、それぞれ専門分野の職員が「健康講話」・「オレンジカフェ&講話」を各月に1回開催しています。

5月から第3期がスタートしますので下記スケジュールをご覧ください。どなたでもご参加いただけます。

●場所:赤とんぼ 5階ホール ●時間:午後1時30分～2時30分

日程	健康講話(全5回) 参加費無料	日程	オレンジカフェ & 講話(全5回) 参加費200円
5/5(土)	脳と筋力を同時にトレーニング リズムに合わせながらステップ体操	6/2(土)	認知症と暮らす家族の思い 認知症の理解と高齢者への関わり方
7/7(土)	栄養・水分補給 熱い夏を乗り切るための食事は?!	8/4(土)	高齢者の理解と認知症への理解 医師から見た高齢者と認知症への理解
9/1(土)	肺炎予防 肺炎を起こす仕組みや症状とその予防	10/6(土)	認知症と睡眠の関係 睡眠がもたらすメリットと認知症の関係
11/3(土)	「転倒予防について」～転はない!折れない!からだづくり!～ 転倒予防・骨・骨密度測定・筋力トレーニング指導	12/1(土)	成年後見人について 「成年後見人とは?」後見人の役割と手続きについて
3/2(土)	これからの介護保険制度 安心してご利用いただくために	2/2(土)	終活 人生のエンディングを考えることを通して「今」を よりよく、自分らしく生きる活動とは何でしょう?

【お問い合わせ】赤とんぼ TEL:096-331-3737 ※内容が変わる場合もありますので、その際はご了承くださいませ



H29年度の健康講話の様子

お知らせ



「オレンジカフェ赤とんぼ」が
「オレンジカフェ&講話」として
内容と、日時・会場が
6月2日(土)より変わります

※4月、5月は「オレンジカフェ」は行いません。

●会場／ケアセンター赤とんぼ 5階

TEL:096-331-3737

予告

第16回 赤とんぼ杯ダーツ大会開催

●6月17日(日)

昨年優勝 長嶺校区1町内
(長成会チーム)



仁誠会は、地元チーム「ロアッソ熊本」「熊本ヴォルターズ」を応援します！



医療法人社団仁誠会 相談窓口 (透析・介護のことなら何でもお気軽にご相談下さい)

■仁誠会クリニック黒髪

〒860-0862 熊本市中央区黒髪6-29-37
TEL:096-345-6533 FAX:096-346-3388

■仁誠会クリニック大津

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2973
TEL:096-232-9595 FAX:096-232-9888

■仁誠会クリニック新屋敷

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-2
TEL:096-211-5151 FAX:096-211-5057

■仁誠会クリニックながみね

〒861-8043 熊本市東区戸島西2-3-10
TEL:096-331-2211 FAX:096-360-4841

■仁誠会クリニック光の森

〒869-1108 熊本県菊池郡菊陽町光の森3-1-1
TEL:096-285-3466 FAX:096-285-3488

■介護老人保健施設 ケアセンター赤とんぼ

〒861-8043 熊本市東区戸島西2-3-10
TEL:096-331-3737 FAX:096-360-7103

■赤とんぼ 居宅介護支援事業所

TEL:096-331-3811 FAX:096-360-7103

■赤とんぼ 訪問介護事業所

TEL:096-331-8879 FAX:096-360-7103

■通所リハビリテーション 赤とんぼ黒髪

〒860-0862 熊本市中央区黒髪6-29-37
TEL:096-346-3535 FAX:096-346-3537

■有料老人ホーム 赤とんぼ黒髪

TEL:096-346-3939 FAX:096-346-3538

■有料老人ホーム 赤とんぼ長嶺

〒861-8039 熊本市東区長嶺南6丁目25-97
TEL:096-368-8800 FAX:096-368-1188

■小規模多機能ホーム 赤とんぼ長嶺

TEL:096-368-8885 FAX:096-368-1155

■仁誠会クリニックながみね

訪問リハビリテーション事業所
〒861-8043 熊本市東区戸島西2丁目3番10号
TEL:096-331-2211

★赤とんぼ保育園(赤とんぼ長嶺敷地内)

TEL:096-288-9860

●個人情報保護について ●

仁誠会では、当施設が保有している患者さん、
その他関係者の個人情報に関して、関連法令・
他法令を遵守し、個人情報の保護に取り組んで
います。

個人情報は、当法人からの医療や介護サービ
スに関わる情報のご案内以外、他の目的には
使用いたしません。



仁誠会窓口メールアドレス
jinseikai-madoguchi@jinseikai.or.jp

ホームページ [仁 誠 会](#)

検索